

科目名	精神保健福祉援助実習指導 I					単位	1.0
担当教員	吉田 みゆき						
授業形態	演習	開講期間	随時	配当年次	2	授業番号	7010

●授業のテーマ

精神保健福祉援助実習

●到達目標

精神保健福祉援助実習の意義、現場における精神保健福祉士の業務を理解する。
精神保健福祉士に求められる資質・能力を習得するための自己の課題を明らかにする。
人権の配慮、守秘義務など、現場業務において必要な配慮について理解する。

●学習内容(授業概要)

個別・集団・見学実習を通して、精神保健福祉士に求められる専門的な知識・技術等への理解を深め、各自の関心や力量形成に向けた課題を明確にする。具体的には、まず精神保健医療福祉の現状を知り、見学実習を通じてそこでの利用者とのかかわりを学び「人と接する」ことの理解を深める。

●学習内容(授業計画)

1. 実習・実習指導の意義・目的
2. 実習全体の流れと学習内容
3. 精神保健医療福祉の現状の理解
4. 精神保健福祉士の職業倫理と法的責務
5. 障害福祉サービス事業所について
6. 見学実習（障害福祉サービス事業所）の目的と心構え
7. 見学実習（障害福祉サービス事業所）
8. 見学実習（障害福祉サービス事業所）の報告とまとめ
9. 精神科医療機関について
10. 精神科医療機関における精神保健福祉士の業務
11. 見学実習（精神科医療機関）の目的と心構え
12. 見学実習（精神科医療機関）
13. 見学実習（精神科医療機関）の報告とまとめ
14. 精神保健福祉援助実習に向けた関心の具体化
15. まとめ～今後の学習課題について～

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業テーマについて下調べをする。
毎回の授業の感想を提出すること。

●成績評価方法・基準

レポート 30%、学習内容・グループワークへの参加姿勢 40%、見学実習に望む姿勢 30%で総合的に評価する。

●テキスト（必携）

特に指定しない。資料等配布する。

●参考文献／その他

新・精神保健福祉士養成講座9『精神保健福祉援助実習指導・実習』第2版，[編集]日本精神保健福祉士養成校協会，中央法規出版。

『《シリーズ 気づくから学ぶ》対人援助実習サポートブック』 対人援助実践研究会 HEART 編集 kumi

●履修上の注意

グループワークをふんだんに取り入れていくので，積極的な参加を期待する。